



2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 田口絹子 (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	1,324	△6.1	△77	—	△74	—	△62	—
2019年6月期第1四半期	1,409	10.6	△33	—	△31	—	△27	—

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 △62百万円(—%) 2019年6月期第1四半期 △27百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	△15.42	—
2019年6月期第1四半期	△6.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	2,124	481	22.7
2019年6月期	2,176	555	25.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 481百万円 2019年6月期 555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	8.14	8.14

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	2.1	140	613.6	140	364.1	110	—	27.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期1Q	5,076,000株	2019年6月期	5,076,000株
2020年6月期1Q	1,026,552株	2019年6月期	1,026,552株
2020年6月期1Q	4,049,448株	2019年6月期1Q	4,049,448株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)におけるわが国の経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続き緩やかな回復基調にありました。一方で米中通商問題の長期化や日韓関係の悪化による影響、消費税増税による国内消費の落ち込み懸念等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、コア事業(生花祭壇事業)での売上拡大、生花卸売事業における物流のサービス強化と高度化、管理部門の体制強化、周辺事業の水平展開等を重点目標とした、最終年度となる中期経営計画に基づき、各施策を実行してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、その他の事業においては前年同期比で増加したものの、生花祭壇事業、生花卸売事業、ブライダル装花事業ともに減少したことから、1,324,334千円(前年同期比6.1%減)、営業損失は、主に上述の売上減の影響により77,210千円(前年同期は33,664千円の損失)、経常損失は74,376千円(前年同期は31,715千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は62,432千円(前年同期は27,534千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、758,985千円(前年同期比5.3%減)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2019年7月から2019年8月までの売上高は横ばい、取扱件数は増加傾向で推移しており、引続き葬儀単価は低下しつつも件数が増加し、売上は拡大している状況です。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、特に大都市圏において「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いており、地方都市におきましてもこの傾向が徐々に顕在化しております。

このような状況の中で、当事業では、強みである機動力や顧客ニーズへの対応力を活かし、売上・利益拡大を図るべく東北・中部・関西・九州エリアへ新たに拠点を展開する等、積極的に各施策を実行してまいりました。一方で、当期間につきましては、主に関東エリア並びに九州エリアにおける売上減少及び、当事業全般における人件費上昇の影響により、営業利益は54,838千円(前年同期比44.4%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っており前期はその効果が顕在化いたしました。当期間におきましては、前年同期比で市場相場が総じて下落傾向にあったことから、販売単価への影響を受けました。

この結果、売上高は398,380千円(前年同期比9.9%減)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2019年9月)によると、2019年7月から2019年9月までの切花累計の取扱金額は15,373百万円(前年同期比4.7%減)、数量では238百万本(前年同期比1.5%増)と金額ベースでは減少、数量ベースでは増加し1本あたりの単価は下落傾向で推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では前期に引き続き、従来の生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みにも注力しておりますが、上述の売上減の影響により、営業利益は1,373千円(前年同期比86.0%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、64,711千円(前年同期比9.9%減)となりました。少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウェディングやレストラン・ウェディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、未だ大きな市場規模が保持されております。このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける新規顧客獲得と商圏拡大、リテール部門での更なる売上増、及び販管費の圧縮・効率化策を実施しており、新規顧客との取引がスタートする等、一部にその効果は出はじめたものの当期間中における収益面での顕在化には至らず、営業損失は11,010千円(前年同期は5,721千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、各事業ともに総じて堅調に推移したため、売上高は102,257千円(前年同期比8.6%増)となりました。一方で利益面におきましても回復基調で推移しているものの、前第2四半期より連結の範囲に含めた農業部門における損失の影響により、営業損失は12,595千円(前年同期は22,756千円の損失)となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ52,365千円減少し、2,124,622千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ22,221千円増加し、1,643,293千円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ74,587千円減少し、481,329千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の連結業績予想につきましては、2019年8月14日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	625,380	523,270
売掛金	507,702	498,458
商品	21,977	25,448
仕掛品	5,065	7,305
原材料及び貯蔵品	40,519	43,113
その他	53,060	54,287
貸倒引当金	△9,901	△7,352
流動資産合計	1,243,804	1,144,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	618,641	624,350
減価償却累計額	△253,902	△260,148
建物及び構築物(純額)	364,739	364,202
車両運搬具	30,819	31,759
減価償却累計額	△23,910	△24,837
車両運搬具(純額)	6,908	6,921
工具、器具及び備品	160,435	167,570
減価償却累計額	△140,296	△139,324
工具、器具及び備品(純額)	20,138	28,245
土地	232,103	232,103
建設仮勘定	8,154	16,295
その他	15,066	15,826
減価償却累計額	△8,070	△8,432
その他(純額)	6,996	7,394
有形固定資産合計	639,040	655,161
無形固定資産		
その他	34,017	30,482
無形固定資産合計	34,017	30,482
投資その他の資産		
差入保証金	52,280	52,966
繰延税金資産	22,670	38,702
保険積立金	167,593	185,053
破産更生債権等	13,210	15,928
その他	15,237	16,721
貸倒引当金	△10,865	△14,923
投資その他の資産合計	260,126	294,448
固定資産合計	933,184	980,092
資産合計	2,176,988	2,124,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,336	203,928
短期借入金	70,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	287,183	228,344
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	88,199	62,979
未払法人税等	5,141	5,212
未払費用	115,421	105,048
賞与引当金	10,313	25,581
資産除去債務	11,650	11,650
その他	108,858	107,248
流動負債合計	849,202	927,092
固定負債		
社債	21,600	18,050
長期借入金	658,883	609,765
リース債務	25,507	21,466
退職給付に係る負債	54,328	54,653
資産除去債務	11,549	12,265
固定負債合計	771,869	716,200
負債合計	1,621,072	1,643,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	429,274	354,692
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	555,936	481,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19	△25
その他の包括利益累計額合計	△19	△25
純資産合計	555,916	481,329
負債純資産合計	2,176,988	2,124,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,409,639	1,324,334
売上原価	1,195,329	1,158,894
売上総利益	214,310	165,440
販売費及び一般管理費	247,974	242,651
営業損失(△)	△33,664	△77,210
営業外収益		
受取利息及び配当金	72	16
受取賃貸料	660	443
補助金収入	290	1,472
保険返戻金	1,700	-
為替差益	-	646
その他	3,062	2,960
営業外収益合計	5,787	5,539
営業外費用		
支払利息	2,893	2,423
為替差損	802	-
その他	141	281
営業外費用合計	3,837	2,705
経常損失(△)	△31,715	△74,376
特別損失		
固定資産除売却損	-	77
特別損失合計	-	77
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,715	△74,453
法人税、住民税及び事業税	3,343	4,011
法人税等調整額	△7,524	△16,032
法人税等合計	△4,180	△12,021
四半期純損失(△)	△27,534	△62,432
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,534	△62,432

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△27,534	△62,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△6
その他の包括利益合計	△4	△6
四半期包括利益	△27,538	△62,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,538	△62,438
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年9月27日 定時株主総会	普通株式	28,791	7.11	2018年6月30日	2018年9月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年9月25日 定時株主総会	普通株式	12,148	3.00	2019年6月30日	2019年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	801,434	442,248	71,790	1,315,472	94,166	—	1,409,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,038	203,672	571	205,282	1,833	△207,115	—
計	802,472	645,920	72,361	1,520,754	95,999	△207,115	1,409,639
セグメント利益 又は損失(△)	98,664	9,773	△5,721	102,715	△22,756	△113,624	△33,664

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産管理事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業並びに就労継続支援事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△113,624千円には、セグメント間取引消去10,025千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △123,649千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	758,985	398,380	64,711	1,222,077	102,257	—	1,324,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,205	194,066	211	195,483	6,775	△202,258	—
計	760,191	592,446	64,922	1,417,560	109,033	△202,258	1,324,334
セグメント利益 又は損失(△)	54,838	1,373	△11,010	45,201	△12,595	△109,816	△77,210

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△109,816千円には、セグメント間取引消去11,777千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,594千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。